



かしこく
やさしく
すこやかに

学校だより



花園小
R5, 12, 20
文責 河野

2学期を振り返って…そして充実した冬休みを！

早いもので、1年間で一番長い2学期（80日）が終わろうとしています。つい先日、色づき始めた中庭のクヌギの葉も落ちはじめ、冬の到来を感じます。

この2学期は、各教科の授業において、各学年で工夫ある取り組みが見られ、子供たちが意欲的に学習してきました。また、たくさんの行事を実施する中で、その都度成長する子供たちの姿があり、頼もしく思います。このような成長の姿を、それぞれの機会にしっかりと褒めていただき、また更に力を伸ばすためにも励ましをお願いします。

さて、いよいよ子供たちが楽しみにしている冬休みとなります。冬休みは、家族で楽しむ大きな行事がたくさんあり、その前後には大掃除をしたり、飾りつけ等をしたり、家族で協力し合うこともたくさんあると思います。子供たち一人一人が「家族の一員としての役割」を感じて生活できることはとても重要なことです。ぜひ、お手伝い等、冬休み前に話し合われたらいかがでしょうか。また、年末年始は、交通事故や感染症等の病気も心配されます。十分に気をつけられ、楽しく充実した冬休みしてください。



2学期は代表授業が多くありました！

本校では、この2学期に宇城地区の教科等研究会や諸研究会等を代表する授業が数々行われ、多く先生方が来校されました。教科等研究会では、4年生の特別活動「4年1組をパワーアップさせよう！」の授業を松下彩子教諭、諸研究会では、3年生の書写「曲がりと反り」の授業を佐藤有紗教諭、宇土市学校人権教育研究会では、高学年の代表授業として5年生「うちに生まれてよかったと思います」の授業を金田隆教諭が行いました。それぞれの授業において、子供たちが自分の考えをしっかりと伝える場が多く見られ、事後研究会では、その頑張りが称賛されました。本校では、特に以下のような研究を行っています。

本校の研究の紹介…

<研究主題>自ら問いを發し、他者と関わり合いながら主体的に学び続ける花っ子を目標として
～児童の「なぜ?」「どうして?」を大切にした授業づくりを通して～

本校では、学校教育目標である「自他を大切にし、主体的に学ぶ児童の育成」を目指し、育てたい資質・

能力を右のように具体的に示し、各学年で取り組んでいるところです。中でも、校内研修では、上記した主題のもと、授業において「どのように学ぶか」という学びの質の深まりを大切にし、課題解決に向けて主体的に考えるとともに、他者と関わり合いながら学びに向かう態度を育てています。

子供が興味・関心をもち、自ら課題を見つけ、問いを立てながら見通しをもったり、推測したり、更には学びや体験から考えたことを基に、新たな課題を追究しようとする姿はとても大切です。そのためにも、「なぜ?」「どうして?」「やってみよう!」と思うような授業づくりに取り組んでいます。

	低学年	中学年	高学年
かしこく 【問いを發する力】	○「なぜ?」「どうして?」をたいせつにしよう。	○「なぜ?」「どうして?」と問いながら学ぼう。	○「なぜ?」「どうして?」と問いながら、見通しをもって学ぼう。
やさしく 【認め合う力】	○あいてをみて、はなぜ?きこよう。	○自分とちがう考えや意見を受け入れよう。	○いろいろな考えを認め、自分の考えをさらに高めよう。
すこやかに 【命を大切にす力】	○そとでげんきにあそぼう。	○自分のけんこうに気をつけよう。	○安全に気をつけて進んで運動しよう。

あいさつ運動がありました！

12月1日（金）の早朝に宇土市のあいさつ運動がありました。市長、副市長、教育長、生涯活動推進課等より来校いただき、通用門でのあいさつ運動でした。毎朝、子供たちは、通用門や児童昇降口で大きな声であいさつを行っています。いつも通りの元気よさに、あいさつ運動に来られた方々は「とても気持ちよかった」と感想をもたれていました。今後も、地域に元気を与えるあいさつになればと思います。



持久走大会 がんばりました！

雨天のため、延期した学年もありましたが、校内持久走大会を15日（金）、18日（月）に実施しました。今年度は、自分のペースで体力や精神力を高めることを目的の一つとし、距離を自分で選択できるようにしました。また、宣言タイムの部門もあり、本番に臨みました。多くのご声援ありがとうございました。



高学年の様子